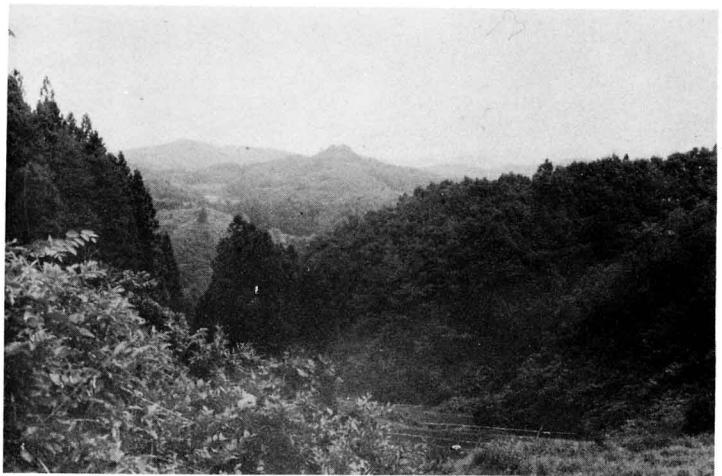


や つか やま
矢 塚 山

大字西山字発地岡、部落の北方に聳える標高 554.6メートルの山。発地岡には伝説の鼻取地藏尊、二段田（墓地）には紅色の花をつける彼岸桜、赤柴は藤、棚橋には本村最古の廃寺＝棚橋廃寺跡、戸倉川下流に戸倉温泉があり、また、矢塚山と対峙するように戸倉川をはさんで、大山祇石尊神をまつる石尊山が、円錐のすがたのよさを印象づけ聳え立っています。

このような、史跡、名勝おりなす全体を総称して矢塚山ととらえました。

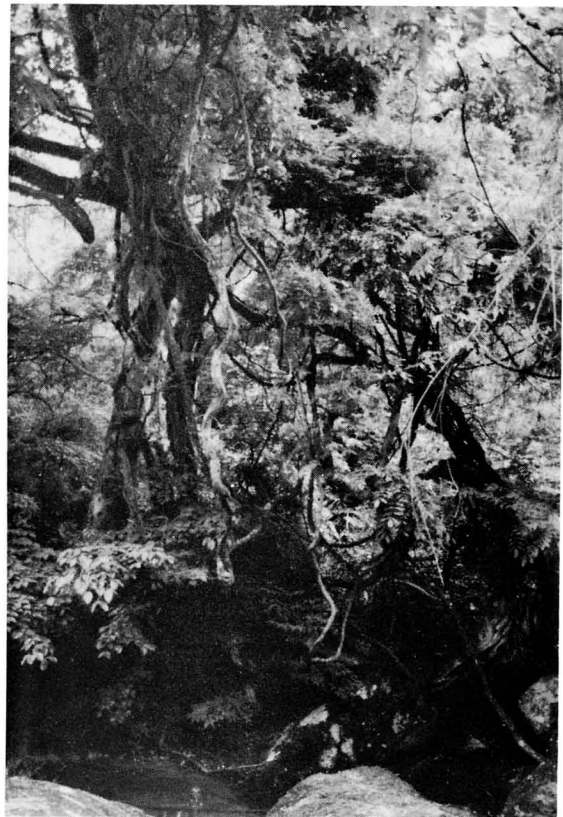


▲左方奥が矢塚山。中央のすがたの良い山が石尊山（長坂より）



▼二段田の彼岸桜

▼赤柴のふじ



▶棚橋の板石塔婆（本村最古・十三世紀）

